



たけむら あきひろさん／平成12年1月生まれ、津別町役場勤務

青春

くろーずあつぷ

今年の4月から津別町役場に勤務している、新人職員の竹村章弘さん。建設課道路・車両グループに所属し、まちバス業務や町道管理に関する業務などを担当しています。

北見市出身の竹村さんは、北見柏陽高等学校を卒業後、地元・オホーツク管内で地域に貢献できる仕事として津別町役場を志望しました。現在は上司や先輩職員の指導を受けながら、様々な仕事を覚え

ているところで、「所属する道路・車両グループは、どちらかといえば町民の方と直接関わる機会が少ない部署ですが、少しでも皆さんの役に立てるようがんばります」と意気込みを話してくれました。

高校時代は剣道部で活躍したスポーツマンで、全道大会にも出場。今も週に1回、津別剣道連盟のけいこに参加して汗を流しています。趣味は幅広いジャンルの音楽鑑賞とのこと。

温故知新

【484】
趣味と家族が
元気をくれる

佐野 繁子 さん



さの しげこさん／昭和4年6月、津別町生まれ／89歳／上里在住

生まれも育ちも上里、という佐野繁子さん。祖父が開墾して以来の畑作農家でしたが、父親の体が弱かったため、三人きょうだいの長女の繁子さんが、子どもの頃から家業を手伝っていました。「力仕事や馬を操ったり、何でもやりましたが、苦労だと思っただけはなく、今も楽しい思い出です」と目を細めます。年頃になり、津別の市街地まで和裁や洋裁を習いに行くにも、家業があるため農閑期の週末だけ。当時は市街地に出るにも、交通手段は徒歩か馬。ときには、上里を走っていた森林鉄道の車両に乗せてもらったこともあつ

たとか。「今考えると、大変なことをしていましたね(笑)」。昭和26年に結婚し、夫の敏行さんと畑作を営みながら、三人の子どもを育てました。家業を息子さんに譲った後は、農協婦人部の役員や自治会婦人部連絡協議会の会長として尽力。「平成4年に、みんなの念願だった食品加工研修センターが完成したときは、本当に嬉しかったです」。町の花いっぱい運動にも、立ち上げの昭和53年から育苗者として花を提供、役員としても運動を支えました。さまざまな社会貢献の功績が認められ、平成19年には日本善行表彰を受章しました。力を注いだできた畑仕事と花づくりは、現在は趣味に。「植物から元気をもらい、家族にも見守られて、毎日幸せ」と感謝の笑顔を見せます。十人の孫と五人のひ孫にも恵まれ、満年齢での卒寿も来年に控えています。お元気な繁子さん。「くよくよせず、考え方を変えながら、新しいことにもチャレンジし、今日一日を大切にすることが、健康と心を守る秘訣」と話します。これからは「農業法人化で発展していく上里を見守っていきたい」と、祖父の開墾から108年目というふるさとに、温かいまなざしを送っています。

2回目の秋野菜の料理教室の参加者を募集します

日時 9月7日(金)
午後6時30分～午後8時
場所 町民会館 調理室
テーマ 秋の野菜を食べよう
申込期間 8月6日～8月31日



申し込み先
保健福祉課健康推進担当⑩番窓口
☎76-2151(内線231)

夏の食事で気をつけたいこと



夏の暑い日は、食事の準備や食事は麺類だけ、パンだけなど簡単に済ませたくなります。

夏バテ防止のためにも毎食3種類を食べるようにしましょう。

- ①ご飯やパン、麺などの主食
- ②肉、魚、卵、大豆製品などの主菜
- ③野菜や海藻、きのこなどの副菜

野菜を食べよう、1日350g!

クイズ・野菜を知ろう：今月は手頃に食べている野菜です。リコピンが多く、最近は赤いものだけでなく黄色や黒、緑の種類も出ています。普通サイズのものよりミニのほうが栄養価が高い野菜は？ 答えは7ページの下にあります。

暮らしを支える 税 消費税等の中間申告

個人事業者の方で、前年分の確定消費税額が48万円を超える方は、税務署に中間申告書を提出することにも、消費税額及び地方消費税額を納付しなければなりません。

この「前年分の確定消費税額」とは、前年分(平成29年分)の確定申告により確定した消費税の年税額をいい、期限後申告又は修正申告等が行われた場合には、これらによって確定した消費税の年税額をいいます(地方消費税は含みません)。

中間申告の方法

次の2つの方法があり、いずれかの方法によることができます。

- ①前年実績による中間申告
- ②仮決算に基づく中間申告(事業状況が前年と著しく異なる場合など)

申告と納付期限

確定消費税の額(地方消費税分を除く額)が48万円を超え400万円以下の方は平成30年8月31日(金)までに申告・納付をしてください。振替納税をご利用の方の振替日は平成30年9月27日(木)になります。